

平成 27 年度 デイサービスセンター かがみいし 事業報告書

1. 事業運営の概況

利用実績は、年間延べ利用者 2,222 人、稼動平均 72.4%。目標実績である 75% までには至らなかったが、前年度平均比較し増加。一般家屋、少人数制の特色から他事業所からの見学希望にも対応し大規模、施設型との差別化を図った。そんな中、認知症状から対応困難で利用希望を断ったケースもあり、今後の課題である。

2. 事業計画実施状況

(1) 職員資質の向上について

① 職員教育と研修

各種の研修会や講習会などの外部研修への参加は、充分とは言えないが、デイサービス連絡会等で、情報交換、意見交換に努めた。習得した内容については、職場内での報告会を開催し、意識の共有を図った。

研修・講演会内容

- ・ 富士市介護予防・日常生活支援総合事業に係る説明会
- ・ 平成 27 年度転ばん教室事前打ち合わせ・研修会
- ・ 平成 27 年度介護保険サービス提供事業者説明会
- ・ 富士市介護予防・日常生活支援総合事業に係る説明会
- ・ 高齢者虐待防止講演会
- ・ 平成 27 年度高次脳機能障害支援従事者基礎研修会

② チームケアの確立

月 1 回の定期ミーティングを開催し、伝達事項を周知、利用者のケース検討を実施、統一した援助、意識でのサービスを提供する事に努めた。

平成 27 年度に行った内部研修、行事については、次の通り。

	内部研修	行事
4 月	機能訓練について	岩本山外出
5 月	身体拘束について	中央公園ばら見学・滝川観音際
6 月	接遇について	手作りおやつ
7 月	身体拘束について	七夕
8 月	認知症ケースについて	夏祭り
9 月	自己評価について	竹取公園祭り
10 月	感染症について	福祉展見学
11 月	法令遵守について	焼き芋会・三日市浅間神社菊展
12 月	高次脳機能障害について	クリスマス会
1 月	感染症について	初詣・三日市浅間神社
2 月	事業計画について	節分会
3 月	事業計画について	岩本山梅見学

(2) 地域との連携を強化させるための方策について

① 地域行事への参加

利用者とともに、積極的に地域行事に足を運び、利用者の社会参加を推進した。その事で、地域社会への認知度も向上し、地域に根付いた施設としての前進となった。

② 地域への積極的な情報発信

広報誌等を有効活用し、施設内の様子や、サービス内容について情報発信を行った。

③ ボランティアの充実

各種ボランティアの来所があり、利用者からの評価も高かった。ボランティアとして来所された方からも好評を頂き、相互の友好的な関係を築くことができた。

(3) 非常災害時対応と周知について

① 総合防災訓練への参加

総合防災訓練に参加し、職員、利用者ともに、災害時対応の再確認、防災意識の高揚に努めた。

② 防災訓練の実施

定期的に火災を想定した防災訓練を実施した。

③ マニュアルの見直し

ミーティング等を活用しながら随時見直しを行い、充実を図った。全職員への周知・理解から、適切な対応に努めた。

(4) 安心・安全なサービスの提供について

① 適切なアセスメントの実施と情報共有

利用前訪問や担当者会議において、多角的なアセスメントに努め、本人ニーズ、家族ニーズの把握につなげた。また、ケアマネジャー、各種サービス提供事業者との情報交換から、最新の情報更新に努めた。

② 事故防止・安全対策マニュアルの徹底

定期ミーティング等を通じ、マニュアルの見直しを行い、周知や共通理解に努めた。また、ケース検討を通じ、施設内のリスクについて検討し、改善につなげる事ができた。また、利用者個人のリスクアセスメントから、事故を未然に防ぐ対策について全職員で検討し、対策を施すことができた。